

無声映画知ってますか？

飯南町出身の活弁士

明治24年(1891年)
今から131年前の
5月に来島の真木で
お生まれになった
吉岡長太郎さん。



吉岡長太郎さんとサダ子さん
(1891-1964)

20代のころよりリキカーに手回し映写機と
フィルムを積んで奥さんのサダ子さんと共に近隣の
村々をはじめ時には隠岐の島まで無声映画
上映に行っておられたそうです。

昭和39年73才で吉岡長太郎さんは
七くられました。家族の方が映写機・カメラと
一緒に175本のフィルムを飯南町に「どうぞ使っ
て下さい」と渡されたそうです。
吉岡長太郎 大切に保管して
記念館に あります。

「私の学校は、授業で地域文化の勉強で
無声映画は、最近の映画のようにな
無声映画は、最新の映画のようにな
音もなければ、声も入ってません。な
映像として楽しめるかも。しれませんが
それでもやっばり音や声はほいほい。
そこで活やくしたのが、活動写真の
よばれる人たちがでした。スクリーンの
横で画面に合わせたりしていました。
横で画面に合わせたりしていました。

カツベン ぶしん

来島小学校
3年
澤田七彩



活弁士に挑戦したよ



編集後記

長太郎さんの残した貴重なフィルムを
それぞれが弁士さんによって語りつがれて
います。その弁士さんの中には兄「澤田四幸」
がいます。現在、中学生弁士として活躍は減少
しています。今は、コロナで活動は減少
しました。が、今は、コロナで活動は減少
無声映画の魅力を問うと
季節によっても自由にくれた人場所
が楽しいんだよ。と教えてくれました。
長太郎さんが残してくれた貴重な
フィルムをこれからは楽しく解説して
みんなに見てもらいたいよう私
活弁士をめざしてみたいです。

文化祭当日

たくさんのお客さんが出演される中で
私たちはトップバッターでがんばりました。



1/3の来島文化祭に向けて私たち3人が
学習した活弁士を披露するために
長太郎活動写真弁士保存会に
から放課後に4回練習して教わりました。
景山さん

